



民法會

民法會議筆記
一月廿九日

廿九

1541



114
A 2652
1

一月廿九日

過目

ハ甲カ乙ノ義務アルモノニ對シテ乙ト同

レク權利ヲ行フヲ得ルヲ説キタリ

千百六十七條ハ前條ト少レク違フナリ

前條ハ利益ヲ得ルヲ説キタリ

此條ハ損害ヲ被ルニ於テハ乙ト丙トノ契約

ヲ甲ヨリ破毀スルヲ訴フルヲ得ルヲ云

フナリ

然レ氏其損害ヲ受クルト云フニ程限アリテ損

害ヲ受ル氏契約ヲ破毀スルヲ得サル場合

大正十一年四月
侯爵邸寄附

アリ

然ルニ此条ノ文章ヨロレカラス
元来法律ハ原則ヲ先キニシテ而後其取除テアルヘレ

此条ノ文章ハ只契約ヲ廢毀スルヲ得ルコトノミ
ヲ云ヒタリ

先ツ契約ヲ遂クヘキコトヲ書イテ後ニ廢棄スル
コトヲ書カサルヘカラス

タトヘハ茲ニ甲ト乙トアリ乙ハ甲ヘ對シテ義
務アルモノナリ然ルニ乙ハ自己ノ不動産ヲ

正直ノ心ヲ以テ丙ヘ賣タリ其價甚タ廉ナリ

仍テ引当物義務アル者財産ハ皆權利アル者ノ抵当物ト見做ス段幾分ヲ

減シタル記ナリ

然レモ詐偽ナケレバ甲ニテ其乙ノ賣タルハヨロ
シカラスト云フコトヲ得ス

又前ニ金ヲ貸シタルモノアリタトヘハ甲ヨリ

乙ヘ前ニ貸シタリ其後乙ニテハ頻リニ他ヨ

リ借財ヲ為ス乙ノ其財産ハ前後ノ債主ノ引

当物ナル故ニ他日分散トナリタルトキハ甲

ニテモ其平均ヲ受クル記ニテ甲ノ引当物ヲ

減スルナリ供シ詐偽ナクレハ之レヲ惡キト云フコトヲ得ス

タトヘハ甲ヨリ借財ヲ為シタル後乙ニテ物ヲ買ヒタリ其代價甚タ高シ人ニ賣ルニハ其價ニ賣ルコトヲ得ス是亦其引当物ヲ減スル訣ナリ然レモ詐偽ナサレハ甲ニテ之レヲ惡シキト云フコトヲ得ス

之レハ詐偽ナキ時ノコトナリ以下ハ本文ノ詐偽アル場合ノコトヲ説カントス甲ニ對シテ義務アル乙ニテ甲ヲ害セン為ニ丙

然レモ同シク關係^{利権}アルモノニテモ故障ヲ述

フルコトヲ得サル場合アリ義務アルモノハ權利アルモノニ對シテハ代理人ナリ其代理トナリテ事ヲ取扱フモノト見做ス仍テ詐偽アルトキハ義務アルモノニテ故障ヲ述フルコトヲ得ルナリ

タトヘハ乙ヨリ甲ノ代人トシテ丙ト契約ヲ為サシムルノ訣ナリ故ニ其契約ヲ尊敬スヘキ場合ニ於テハ甲モ同シ關係ナルユヘ尊敬ス供シ其乙ト丙トノ契約ニ付詐偽アル氏ハ甲ハ

關係ナキ外人トナリテ乙ト丙トノ契約ニツ
 キ丙へ對シ故障ヲ述フルコトヲ得ルナリ
 甲ニ對シ義務アルモノ乙ニテ契約ヲ為スニモ
 セヨ賣買ヲ為スニモセヨ詐偽ナキハ故障
 ノ述フルコトヲ得ス
 タトヘハ賣買ヲ為シテ利ヲ得ルハ甲モ富ム
 ノ理ナリ万一損トナリタリトモ致シ方ナレ
 万一詐偽アルハ甲ノ代理人タルノ款ハ消滅
 ス其トキハ甲ハ全ク外人トナリテ故障ヲ述
 フルコトヲ得ルナリ

ト結ビタル契約ニ付テハ丙ニ對シ其ノ契約
 ヲ廢棄セシメントスルノ訴ヲ為スコトヲ得ル
 之レニニツノコトナカルヘカラス
 第一 甲ニ對シテ損害ヲ起サントスルノ存意
 アルコト
 第二 甲ニ對シテ損害ヲ為シタルコト
 タトヒ害ヲ生シタリトモ不知々々ニ生シタル
 モノハ前ニ説キタル通りニテ其契約ヲ廢
 棄セシムルコトヲ得ス
 タトヒ權利ヲ害セントシテ為レタルコトニモセヨ

未ダ害セサル時ハ之レヲ廢棄セシムルヲ得ス

仍テ權利アル人ニテハ乙ハ思フタルヨリ貪ナリレ又ハ思フタルヨリ富ナリレ等ニテハ之レヲ廢棄セシムヘカラス

必ラス害スルノ心アリテ且ツ害レタルキノ場合ノミナリ

權利アルモノト義務アルモノトハ同レ關係アルモノナル故一方ノ權利ヲ害スル時ハ權利アルモノニテ故障ヲ述フルヲ得ルナリ

詐偽アル場合ニ於テ權利ナルモノニテ故障ヲ述フルヲ沢山アリ其例ヲ挙ケントス

贈遺ノヲテ先ツ例ヲ挙ケン

甲ニ對シ義務アル乙ニテ丙ニ贈遺ヲ為ス之レハ眞実ヨリ為スニアラス全ク甲ノ權利ヲ害シ其拂ノ向ユル為メニ為レタルモノナリ其証アルカ甲ハ丙ニ對シ其贈遺ヲ廢スルヲ得ルナリ

ダトヘハ乙ニテ賣買ノ契約ヲ為ス賣買ハ贈遺ニ比スレハ其害ハ少ナレ何トナレハ其代價

ハ之ニ入ルナリ依レ権利アルモノヲ害セン
トスル為メニ之レヲ為タルトキハ其契約ヲ
廢棄スルコトヲ得ルナリ

贈遺ト賣買ニ付テ區別ヲ為サルヘカラス
贈遺ノ場合ニテハ贈遺ヲ為レタルモノ一方ノ
不正ノ心アルノミニテ之レヲ廢棄スルコトヲ
得ル

然レ賣買ノ場合ニテハ賣人ト買人双方ノ不正
ノ心アルトキニアラザレハ之レヲ廢棄スル
コトヲ得ス

今説ク所ノ方法ハローマノ法律ヨリ来リ佛ノ

古法トナリ尔後習慣トナリ今日ノ新法ニ其
正条ナレト虽トモ之レヲ施行レテ一人モ疑
フモノナレ

恩惠ノ契約ト要債ノ契約トニ付ラ之レヲ
廢棄スルコトハ商法ニアリ

商法四百四十六條四百四十七條ニアリ参照ス
ヘレ

商人ノ分散ヲ為スニ分散ノ期ニ近ツイテ恩惠
ノ契約ヲ為スモノハ廢スルコトヲ得ル

賣買ノ契約ニ於テ買人ニテ不正ノ心アルトキ
ハ廢スルコトヲ得ル之レナリ

或ハ之レ尅ケノ物ヲ贈ルヘレトノ契約ヲ為シ
而入り高ラ少ナクシテ出ラ高ラ多クスル為
メノ契約ニテ債主ヲ害スルコトノ為トシ
ハ未タ贈ラサル前ト雖此之レヲ廢スルコトヲ
得ル

或ハ要債ノ契約ニ於テモ借金ノ高ラ多クスル
ニ一方ノ者ニ不正ノ心アル時ハ之レヲ廢ス
ルコトヲ得ルナリ

或ハ甲ニ對シテ義務アル乙ニテ丙へ金ヲ貸シ
タリ故ニ義務アル乙タリトモ亦權利ナキコ
トナレ然ルニ甲ノ權利ヲ害セン為メニ其証
文ヲ丙ノ人ニ與ヘタリ之レ甲ヲ害セントス
スルノ意ヨリ出ツル時ハ之レヲ廢スルコトヲ
得ル

乙ヨリ甲ヲ害セントスルニハ其方法三ツノミ
ナリ

- 一 不動産ヲ人ニ讓與スルコト
- 一 動不動産ヲ人ニ讓與スルコト
- 一 ト契約ヲ為スコト

三人ニ証文ヲ返ス

此三ツヨリ外ニ詐偽ノ生スル原因ハナキナリ

佛ニテハ恩惠ノ契約カ又ハ要債ノ契約カラ區

別レ難キモノアリ

婚姻ヲ為スニ父ヨリ女ニ持參セレムル財産之

レナリ

佛ニテハ之レハ要債ノ契約ト見做スナリ

父カ女ニ与ヘテ女ニテ父ヘ其品丈ケノ償ヲ出

サ、ルユヘ恩惠ノ如ク見ユルナレトモ否ラス

其持參金ヲ以テ婚姻諸式ヲ調ヘ又ハ子ヲ産

メハ其児ヲ育スル等ヲ為スヘキノ資本ト為

スユヘ恩惠ニハアラス即チ要債ト見做スナ

リ

贈遺ノ契約ヲ為スニ萬一他ヨリ其物件ニ付取

戻レノ訴ヘアル氏ハ贈遺ヲ為レタルモノハ

保証ニハ立タス之レヲ取テ、トモ更ニ贈

遺ヲ為サス

然レニ婚姻ノ持參物ニ付万一取戻レノ訴ヘア

ルトキハ父ハ保証ニ立チ万一之レヲ取ラレ

バ更ニ他ノ財産ヲ以テ持參物又金ヲ以

債ハサル可カラス

トヘハ女ニ不動産ヲ典ヘタリ其トヤ他ヨリ
取戻レノ訴ヲ為スニ弥々他人ノ不動産ナラ
ハ他人ニ渡サレテ得ス其時ハ父ハ他ノ不
動産又ハ金ヲ以テ女ニ償ハサルヘカラス
此時ニ當ツテ父ハ保証人ナリ故ニ要債ノ契約
トオスナリ

女ハ父母ニ對シテ強テ嫁資ヲ乞フノ権利
アルコトナレ只々父ノ本意ヨリレテ借金ニア
ラサル義務ヲ行フタルモノナリ之レヲ自然

ノ義務ト云フ

若シ父ニテ分散トナル前ニ財産ヲ女ニ典ヘ
ルニ権利アル者ヲ害セン為ニ父ノ財産ヲ減
スルノ意アリテ為レタル片ハ即チ女ハ從ナ
リ之レハ廢スルコトヲ得ルナリ

併シ女ニテ其情ヲ知ラサル時ハ之レヲ廢ス
コトヲ得ス之レ要債契約ナルコトヲ證ス

以下ハ権利アルモノヨリ他ノ権利アルモノニ
對シテ廢棄ノ訴ヲ為ス手ツキヲ説カント
ス

契約ノ廢棄スルトニ付テハ相談ノミニテハ決
セス必ラス。裁判所ニテ其詐偽ノ一マヲモ取
調フル上ニテ決スルナリ

佛ニテハ之レヲ「アクレヨンガトハール」ト云廢棄ノ
詐ト云又
「アクレヨンボリエントモ云フ

之レハ「ローマノ」ボリエス」ト云フ人ノ始メタル
法ナリ仍テ此名アリ

権利アル甲ニテハ義務アル乙ヲ訴ヘス必ラ
ス乙ト契約ヲ為レタルモノ即チ丙ニ對シテ
訴フ併シ乙ハ裁判所ヘ出ラサルヘカラス

人権物権ヲ區別セサルヘカラス時ニヨリテハ

區別スヘカラサルナリ
先ツ人権ヨリ説キ始ムヘシ

要債ニモセヨ恩恵ニモセヨ一ツノ契約ヲ為スニ

甲ニテ此契約ハ不義ナルニ付丙ニ對シテ訴
フルハ必ラス人権ナリトス

又乙ニテ甲ニ害セン為メニ丙ニ證文ヲ返シタ
ルキ甲ニテハ丙ニ對シテ其証文ヲ乙ヘ返タ

ヘシト訴フ之レ即チ人権ナリトス
コト一例アリ之レハ人権ナリヤ物権ナリヤ

疑ハシキナリ

人物ヲ讓與スルカ又ハ贈遺ヲ為スニ其物讓與
ヲ受ケタルモノ、手ニ尚ホ存在シテアル成
ハ人権ナリヤ物権ナリヤト云フキハ人ト物
ト相混シタルモノヲ生スヘシ
何トナレハ不正ノコトヲ為シタルモノハ人権ナ
リ物件取戻シハ物権ナレハナリ
甲ヲ害セン為メニ乙ト丙トニテ契約ヲ為シ
ルユヘニ甲ノ害ヲ補ハサルヲ得ス又其物件
ハ存在スルニ付キ相混合スルモノト為スナ

リ

今其買品又贈遺物品ヲ更ニ他人ニ賣リタリ最
権ナレハ所有者ノ何人ヲ問ハス其物件ニ對
シテ物権ノ訴ヲ為スコトヲ得ルナリ
一般之レヲ決スルニハ物権ヲ以テ決スルナリ
之レハ仏ノ裁判所ノ申明ノ方法ナリトス
ボアソソナードル考ルニ之レヲ人権ト見做ナリ
何トナレハ之レハ民事ノ罪ト見做スナリ
我カ物ニテラサルモノヲ我カ物ト為シタルニ
付キ補ハサルヲ得サルモノト為スナリ

恩惠ノ契約ノ片ハ其贈遺ヲ受タル人ニ對シテ
訴フ之ニハ人ノ物ヲ以テ富スニカラサル契
約ナルヲ以テ訴フルナリ

要債ノ契約ノ片ハ^{民事ノ罪}ハテ以テ訴フルナリ
ヨレヤ轉展シタルニモセヨ買人ノ不正ノ心ア
ル片ハ其不正ノ心アル人ニ對シテ訴フルナ
リ

右ノ如ク實地取扱フ所ハ面倒ナルヲナリ
前説ニ從ヒ全ク物權ト見ル片ハ先キノ先キノ
買人ハ正レキ心ニテ買ヒタルモノハ甚タ難

決テ受クルナリタトヒ保証ノ保証ヲ重スル
ニモセヨ大イニ迷惑ヲ為スナリ

後説タル我カ説ニ從ヘハ暫ラク其物件ノ買人
ノ手ニ在ル間ト見做シテ之レヲ論ス

若シ之レヲ物權ト為シテ訴ヘテ為ス片ハ甲ニ
テ其物件ヲ盡ク取ルトモ苦レカラス然レ之
レヲ人權ト為ス片ハ乙ノ債主タル甲一人ノ
權利アルモノニアラス丙ノ債主ト平均ト

ナラサルヘカラス
物權トナレハ物件ヲ盡ク取ラレシナリタトヒ

詐偽ニテ為レタルニモセヨ 丙ニモ債主アル
ヘレ故 甲ニテ其物ヲ取ルルハ丙ノ債主ニ
ノハ少レモ之レヲ取ル^レヲ得ス夫イニ准法
ヲ蒙ルルハキナリ

丙ニテハ乙ニ對シテ權利アルモノナリタトモ
甲ノ權利ヲ害シタリトモ丙ノ債主ニテ全ク
損害ヲ受クルノ理ナシ

一例ヲ以テ説カン
ボ⁷アツソナードニテ金ヲ借リタリ然ルニ權利
ル数人ノ損害ヲナサン為メ名村へ不動産ヲ

賣リタリ仍テ其数人ヨリ名村ニ對シテ契約
廢棄ヲ訴ヘタリ其氏名村ハ他ノ数人ニ義
務アリ其時ハ名村ノ義務アル他ノ数人へ平
均ヲ為サハルヘカラス名村ニテボ⁷アツソナード
ヨリ正不正ヲ論セス買ヒタル時ハソレ丈ケ
ノモノハ数人ノ引当トナリ居ルナリ
ソノ為メ名村ニ權利アル数人ニ難渋ヲ試ル^レ
ニ得ス必ラス平均ニセサルヘ^レラス
之レ我カ人權ト為ス所以ナリ
若シ之レヲ物權ト為ス片ハ只々前ノ数人即

チ「ホアツソナード」ニ権利アルモノ取ルモノト
為レテ右村ニ権利アル教人ハ取ルコトヲ得
ルナリ

仍ラ日本ニテ法ヲ立ツル時ハ人推トカヌハ物
推トカニ定ムヘキナリ

目下佛ニテハ之レヲ物推ト為スナリ

問 公商公賈ヨリ一層慥カナルモノヨリ買ヒ
タル品ハタトヒ後日其盗品ナルコトヲ知り得
タリトモ之レヲ返スニ及ハスト思フナリ知
河

答 其所有ノ主ヨリ買ヒタリト思フトモ更ニ

真ノ物主ノ出ラタル所ニ之レヲ返サ、ル
カラス何トナレハ所有主ヨリ金ヲ出シテ買
ヒ得ルノ理ヨリ出スルヨリ更ニ真ノ所有主
アル所ニ返サ、ルヘカラス

其返サルヘカラサルノ期^{プロスクリフ}満得免ハ三年ナリト
ス之レハ不正ノ心ナキユヘナリ以前ノ法ハ

盗賊ノ手ニアル物件ハ三十年ナリトス
盗賊ノ品ヲ知ラステ買ヒタルモノヲ取り戻
スコトヲ得スト為ス時ハ盗品ノ賣レ易キノ端

ヲ啓クナリ

公商公賈ニアラサル人ヨリ物ヲ買フハ其出
所ヲ詳シク聞キ糾サ、ルヘカ、ス何トナレ
ハ其物品ヲ取リ上ケラレタル時其人ヨリ價
金ヲ取ラサルヲ得サレハナリ

三 法 卷

同 法 卷

